


報徳仕法ワークシート（中学生用）


中学校で勉強した「報徳仕法について」書いてみましょう。



報徳仕法はなぜ、どんなことが行われ、どれだけの成果があったの？

報徳仕法から学ぶことは？

その他、分かったことを書いてみましょう！！



報徳仕法関連図書

小・中学生でもわかる 金次郎の伝記の本です。



読んでみよう！！

紹介文：榎村幸子
(福島県立須賀川高等学校)

●◎和田傳著・朝倉撰絵
『二宮金次郎 この人を見よ2』
(平成15年 童話屋) 中学生～
金次郎の生涯が詳しく、生き生きと描かれ、金次郎が身近に感じられる作品です。ぜひ読んでみてください。

●◎木暮正夫著
『二宮金次郎 おもしろくてやくにたつ子どもの伝記18』
(平成11年 ポプラ社) 小学校中学年～
お話のほかに、「ものしりガイド」がついているので、クイズや資料で楽しく理解を深めることができます。

◎西本鶏介編著・狩野富貴子絵
『光をかかげた人たち1 ひとり読みと読みきかせのための心を育てる偉人のお話』
(平成13年 ポプラ社) 小学校低学年～
偉人たちを知るためのエピソードを、やさしく紹介しています。子ども時代の金次郎にまつわるお話とは？(『6 二宮金次郎：古くなったわらじ』p 39～47)

- そのほかの伝記
- ◎松山 市造 著『二宮金次郎』(子どもの伝記全集29 昭和53年 ポプラ社)
松山 市造 著『二宮金次郎』(伝記文庫D 13 平成5年 ポプラ社)
 - ◎土家 由岐雄 著『ものがたり二宮金次郎』(児童伝記全集8 昭和44年 偕成社)
 - ◎土家 由岐雄 著『二宮金次郎 改訂版 農村をよくしようと努力した人』(児童伝記シリーズ10 昭和45年 偕成社)
 - ◎加藤 武雄 著『二宮金次郎 改訂版 至誠と勤労の人』(世界偉人伝全集9 昭和55年 偕成社)
 - ◎打木 村治 著『二宮金次郎 農と村に生きた尊徳』(講談社火の鳥伝記文庫 昭和57年 講談社)
 - ◎古城 武司 漫画『二宮金次郎』(学習漫画・世界の伝記14 昭和60年 集英社)
◎久保 喬 著『二宮金次郎』(偕成社なかよし絵文庫7 平成元年 偕成社)
 - ◎岡上 鈴江 著『二宮尊徳』(世界の伝記32 平成7年 ぎょうせい) ※県立図書館所蔵は昭和55年版
 - ◎漆原 智良 文 山中 桃子 絵『洪水にいだんだ金次郎—誕生から生家の復興まで—
シリーズ二宮金次郎を調べる本 1』(平成23年 同友館)
 - ◎漆原 智良 文 山中 桃子 絵『国をたがやした金次郎—村むら、そして藩のたてなおしへ—
シリーズ二宮金次郎を調べる本 2』(平成23年 同友館)
 - ◎漆原 智良 文 山中 桃子 絵『よみがえる金次郎—わたしたちの身近に金次郎がいたら—
シリーズ二宮金次郎を調べる本 3』(平成23年 同友館)

相馬地方に関するもの

- ◎新開 ゆり子 作 北島 新平 絵『虹のたつ峰をこえて』(昭和50年 アリス館牧新社)
- ◎新開 ゆり子 作 北島 新平 絵『海からの夜あけ』(昭和56年 アリス館)
- 『紙芝居 二宮金次郎と富田高慶』DVD版

●は南相馬市立中央図書館所蔵、◎は福島県立図書館所蔵、なお貸出しについては直接お問合せください。
南相馬市立中央図書館 Tel 0244-23-7789 福島県立図書館 024-535-3218

●二宮尊徳・報徳仕法に関する本

- 『二宮尊徳全集（復刻版）全36巻』（昭和52年 龍溪書舎）
 『二宮尊徳関係資料図鑑 一神奈川県文化財図鑑 歴史資料篇一』（平成2年 報徳文庫）
 福住正兄著・佐々井信太郎校訂『二宮翁夜話』（岩波文庫 昭和8年 岩波書店）
 福住正兄著・佐々井典比古訳注『訳注 二宮翁夜話（上）（下）・富国捷徑（抄）』（現代版報徳全集 昭和33年 一円融合会）
 斎藤高行著・佐々井典比古訳注『訳注 二宮先生語録（上）（下）・報徳外記』（現代版報徳全集 昭和33年 一円融合会）
 佐々井信太郎著『解説二宮先生道歌選』（現代版報徳全集 昭和34年 一円融合会）
 奈良本辰也著『二宮尊徳』（岩波新書 昭和34年 岩波書店）
 守田志郎著『二宮尊徳』（平成5年（社）農山漁村文化協会）
 長澤源夫編『二宮尊徳のすべて』（平成5年 新人物往來社）
 大藤修「二宮尊徳」（『岩波講座日本通史第15巻』所収 平成7年 岩波書店）
 ジョージ秋山著『博愛の人』（平成7・8年 小学館）
 栃木県立博物館第55回企画展図録『二宮尊徳と報徳仕法』（平成8年）
 柴桂子著『二宮文一父尊徳の事業に尽した生涯一』（平成12年 桂文庫）
 新井恵美子著『江戸の家計簿～家庭人・二宮尊徳～』（平成13年 神奈川新聞社）
 福住正兄著・野沢希史訳『二宮尊徳翁の訓え』（平成13年 小学館）
 童門冬二著『小説二宮金次郎』（集英社文庫 平成13年 集英社）
 大藤修著『近世の村と生活文化―村落から生まれた知恵と報徳仕法―』（平成13年 吉川弘文館）
 宇津木三郎『二宮尊徳とその弟子たち』（小田原ライブラリー3 平成14年 夢工房）
 大木茂著『栃木・茨城・神奈川・静岡・相馬の仕法 上・下巻』（平成15年 随想舎）
 三戸岡道夫著『二宮金次郎と13人の世界人』（平成16年 栄光出版）
 猪瀬直樹著『二宮金次郎はなぜ薪を背負っているのか？』（平成19年 文春文庫）
 見城悌治著『近代報徳思想と日本社会』（平成21年 ベリカン社）
 中桐万里子著『二宮金次郎の幸福論 運命を高める55の金言』（平成21年 致知出版社）
 二宮康裕著『二宮金次郎正伝』（平成22年 モラロジー研究所）
 稲葉守著『尊徳仕法と農村振興 現代に生きる変革の精神』（平成22年 農山漁村文化協会）
 武者小路実篤著『二宮尊徳』（平成22年 オフィスワイワイ書房）
 二宮康裕著『二宮金次郎 日本人のこころの言葉』（平成25年 創元社）
 早田旅人著『報徳仕法と近世社会』（平成26年 東京堂出版）
 中桐万里子著『現代に生きる「二宮翁夜話」 子孫がやさしく紐解く40の人生訓』（平成26年 致知出版社）
 大藤修著『人物叢書 新装版 二宮尊徳』（平成27年 吉川弘文館）
 松尾公就著『二宮尊徳の仕法と藩政改革』（平成27年 勉誠出版）
 大貫章著『二宮尊徳に学ぶ経営の知恵―600の村を救済した“報徳仕法”とは』（平成18年 産業能率大学出版部）
 榛村純一著『中日両国で尊徳を見直す 尊徳のここが偉い、報徳はこれからが大事』（平成19年 大日本報徳社）
 松沢成文著『混迷日本再生 二宮尊徳の破天荒力』（平成22年 ぎょうせい）
- 相馬地方の報徳仕法に関する本
 岩崎敏夫著『二宮尊徳仕法の研究』（昭和45年 錦正社）
 田原口瑛蔵著『荒至重先生小伝』（昭和5年 荒至重先生小伝刊行会）
 今野美寿著『相馬藩政史（上）（下）』（昭和15・16年 相馬郷友会）
 廣瀬敏子著『人間二宮尊徳』（昭和23年 青年評論社）

- 廣瀬豊・敏子著『二宮尊徳の高弟 富田高慶』（昭和28年 日本甲子会）
 富田高久「相馬仕法における用水御普請（上）（中）（下）」（『かいびやく』424～426 昭和62・63年 一円融合会）
 佐々井典比古講演「二宮尊徳の仕法と相馬中村藩」（『野馬追の里歴史民俗資料館講演第2集』所収 平成8年 野馬追の里原町市立博物館）
 『相馬報徳読本 訓えを今に』（平成元年 相馬市教育委員会）
 佐藤高俊著『相馬叢書第4輯 慈隆尊師』（平成6年 相馬郷土研究会）
 佐藤高俊「御勝手方と御仕法方の確執」（『相馬郷土第11号』所収 平成8年 相馬郷土研究会）
 荒至重著『量地三略 乾坤（復刻版）』（昭和52年 相馬和算研究保存会）
 福島県和算研究保存会編『新・福島和算』（昭和57年）
 『北萱浜史』（昭和61年 萱浜史編纂委員会）
 野馬追の里歴史民俗資料館企画展図録第7集『相馬中村藩の御仕法』（平成9年）
 山田秀安著『大堀の歴史と文化財』（平成11年 蒼海社）
 千枝章一「相馬中村藩・御仕法係「羽根田延光」の足跡―安積・那須両疏水を中心として―」（『相馬郷土第14号』所収 平成11年 相馬郷土研究会）
 四條喜三郎著『ふるさとの川と伝説（民話）』（平成13年 蒼海社）
 熊耳敏著『相馬中村藩と荒至重』（私家版）
 熊耳敏著『相馬藩を蘇生させた二宮仕法と荒至重』（平成15年 私家版）
 大藤修「二宮尊徳と中村藩の報徳仕法」（『講座 東北の歴史』第2巻所収 平成26年 清文堂出版）
 田原口保貞編著『田原口瑛蔵著『荒至重先生小傳』を読む』（平成21年 相馬郷土研究会）
 国枝良次「安政二年、相馬中村藩は何故、冥加人足を派遣したか」（『相馬郷土第22号』所収 平成19年 相馬郷土研究会）
 国枝良次「相馬中村藩から派遣された冥加人足について」（『相馬郷土第25号』所収 平成22年 相馬郷土研究会）
 相良征一編著『牛越・大木戸雑考』（平成23年 私家版）
 相良征一編著『新牛越・大木戸雑考 資料編』（平成26年 私家版）
 志賀直哉著「祖父」（志賀直哉全集第9巻所収 平成11年 岩波書店）
 田崎公司「二宮金次郎像に関する一考察」（『相馬郷土第28号』所収 平成25年 相馬郷土研究会）
 『特集 鹿島区頌徳・報徳碑』（『かやはら第7号』所収 平成28年 南相馬市鹿島文化財愛好会）
 『相馬市史全6巻』（昭和44～58年 相馬市）
 『原町市史』（昭和43年 原町市）
 『原町市史5 近世 資料編Ⅲ』（平成19年 南相馬市）

●『報徳記』

- 富田高慶述・佐々井信太郎校訂『報徳記』（岩波文庫 昭和8年 岩波書店）
 富田高慶原著・佐々井典比古訳注『補注報徳記（上）（下）』（現代版報徳全集 昭和29年 一円融合会）
 地剛慎一編『報徳記を読む』（平成26年 二宮尊徳の会）

●『手控』

- 「草野半右衛門手控」（『原町市近世文書第6集』平成9年 原町市教育委員会）

●内村鑑三著『代表的日本人』

- 『代表的日本人』（『明治文学全集39内村鑑三集』所収 昭和42年 筑摩書房）
 内村鑑三著・鈴木範久訳『代表的日本人』（岩波文庫 平成7年 岩波書店）
 高橋富雄講演『野馬追の里歴史民俗資料館講演第3集 代表的日本人 二宮尊徳』（平成10年 野馬追の里原町市立博物館）
 童門冬二著『内村鑑三の「代表的日本人」』（平成19年 PHP 研究所）

協力機関・協力者（敬称略）

小田原市尊徳記念館・相馬市・相馬市教育委員会・相馬市歴史資料収蔵館・郷土蔵・報徳博物館・新祥寺・洞雲寺・圓応寺・蒼龍寺・仏立寺・南右田神社・福島県立相馬高等学校・福島県立図書館・福島県立博物館・会津美里町教育委員会・日光市報徳二宮神社・小田原市報徳二宮神社・福島県立相馬農業高等学校・相馬報徳社・かしま交流センター・南相馬市立鹿島中学校・南相馬市立石神第一小学校・南相馬市立上真野小学校・南相馬市立大甕小学校（順不同）

愛沢 重珍	猪狩 正志	大崎眞希子	檉村 幸子	川瀬 明德	菅野 俊之
五賀 和雄	斎藤清一郎	佐藤 重郎	相馬 和胤	高橋 充	武岡 京子
田崎 公司	舘岡 敏美	新妻 寛	新田 雅典	葉田野卓英	平田 一
藤澤 正美	星 邦康	星 光一	森 昌隆	森 幸彦	門馬 経房
吉野 高光	渡邊 義夫	吉田 禎子			

報徳仕法 原町市版「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」関係者

[監修者] 佐々井典比古 財団法人報徳福運社理事（平成16年当時）

[報徳仕法原町市版副読本編集委員会（平成16年当時）]

熊耳 敏	（福島県和算研究保存会会員）
大和田幾雄	（野馬追の里原町市立博物館資料調査協力員会長）
太田 勝弘	（前原町市史編纂室編集員 近世担当）
二上 裕嗣	（野馬追の里原町市立博物館収集展示委員会歴史部会長）
堀川 幸一	（前原町市教育委員会学校教育課指導主事兼課長補佐、現飯館村立草野小学校長）
玉川 雄一	（前原町市立高平小学校教頭、現双葉町立双葉北小学校長）
門馬 経宏	（原町市立大甕小学校教諭）
高江 和夫	（原町市立石神第二小学校教諭）
井上 教央	（原町市立原町第二中学校教諭）
鈴木 太	（原町市立原町第三中学校教諭）

事務局

今村 昭司	（野馬追の里原町市立博物館長）
遠藤 克英	（野馬追の里原町市立博物館副主査）

[発行日] 平成16年9月30日

[編集] 報徳仕法原町市版副読本編集委員会・野馬追の里原町市立博物館

[企画] 有限会社 ライト印刷・デザイン制作 高倉光一

[発行] 原町市

[印刷] 有限会社 ライト印刷

報徳仕法 南相馬市版「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」関係者

報徳仕法南相馬市版副読本編集委員会

熊耳 敏	（福島県和算研究保存会会員）
玉川 雄一	（双葉町立双葉北小学校長）
今村 昭司	（前南相馬市博物館長）

事務局

生涯学習課

但野 裕	（生涯学習課長）
鈴木 京子	（生涯学習課主査）
南相馬市博物館	
大友 弘道	（南相馬市博物館長）
菅野 正敏	（南相馬市博物館副館長）
水久保克英	（南相馬市博物館主任学芸員）

[発行日] 平成20年3月20日

[編集] 南相馬市教育委員会生涯学習課

[発行] 南相馬市

[印刷] 有限会社 ライト印刷

報徳仕法 南相馬市版（改訂版）「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」関係者

報徳仕法南相馬市版（改訂版）副読本編集委員会

玉川 雄一	（学識経験者・前副読本編集委員）
今村 昭司	（元南相馬市博物館長・前副読本編集委員）
藤原 一良	（南相馬市文化財保護審議会委員）
相良 征一	（南相馬市博物館資料調査協力員会副会長）
林 典行	（学校教育課指導主事）

事務局

文化スポーツ課	南相馬市博物館
木幡 藤夫（文化スポーツ課長）	堀 耕平（南相馬市博物館長）
菅野 育子（文化スポーツ課係長）	齋藤 直之（南相馬市博物館次長）
遠藤美由紀（文化スポーツ課主査）	水久保克英（南相馬市博物館主査）

あとがき

この本は、平成20年3月20日に発行した「報徳仕法 南相馬市版 二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」を改訂したものです。東日本大震災により史跡等の損壊があり、内容に差異が生じました。

そこで、この副読本を通して報徳仕法を学び、将来の南相馬市を担う皆さんが、東日本大震災から南相馬市を復興・発展に導いてくれるようお願いを込めて改訂したのです。

本の中にあるように、少年時代の金次郎にとって最大の課題は家計のたてなおしでした。それには、くりかえし襲う災害とたたかい田畑を復旧して、米を増産する必要がありました。

一生懸命工夫と努力を重ねるうちに、米を増産し家計が安定する方法を見つけました。この報徳仕法で課題を解決したのです。また、そのとちゅう自然と人間を見つめる中で、多くの真理も見つけました。仕法は報徳仕法となり、ゆるぎない成功の方法となりました。

中村藩の課題、藩財政のたてなおしの解決に貢献したのが富田高慶で、仕法を学び財政の課題を解決したのです。

金次郎のその誠実な生き方は、時代が変わっても大きな影響を与えました。農業に限らず商工などにおいても、人びとに勇気を与え、自分の課題を解決する希望を与えました。

金次郎と遠くへだたる科学技術の世の中となり、当時とは大きくさま変わりしましたが、かれの姿の中にももの考えるヒントはないでしょうか。この本の中から、皆さんの記憶に残ることを何かひとつ見つけていただけたらうれしいことです。

編集にあたり、ひき続き資料の所蔵者の方がたをはじめ多くの方がたのご協力をいただきました。あらためて深く感謝申し上げます。

発行日 平成28年8月31日発行

編集 南相馬市市民生活部文化スポーツ課
南相馬市博物館

発行 南相馬市
南相馬市原町区本町2丁目27

印刷 有限会社 ライト印刷
南相馬市原町区北新田字信田370-1